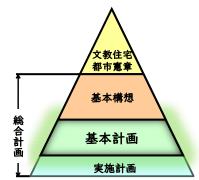
習志野市前期基本計画(案)の概要

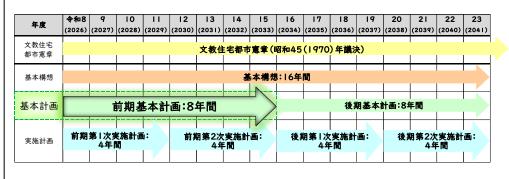
1. 計画および期間

基本計画とは、本年9月に市議会で可決された令和8年4月から 適用する「習志野市基本構想」のもと、**基本構想で示した将来** 都市像を実現するための具体的な施策を示す計画です。

基本計画と、まちづくりの基本的な考え方や方向性を示す基本構想、施策の実現に向けた個々の事業計画を示す実施計画を総称して「習志野市総合(長期)計画」と言い、総合(長期)計画は、本市不変のまちづくりの基本理念である「文教住宅都市憲章」に次いて、本市のあらゆる計画の最上位に位置付けられる計画です。



計画期間は、令和8(2026)年度から令和15(2033)年度までの8年間です。



基本構想の計画期間(16年間)を前期・後期で定めるものです。また、実施計画民社会の変化や市民ニーズに柔軟に対したが、計画期間としています。

2.課題

これまでも市民一人ひとりが夢と輝きをもって自己実現を果たし、あらゆる主体を互いに認め、理解し合いながら、みんながやさしさでつながるまちづくりを推進してきました。 しかし、本市を取り巻く社会情勢は様々な面で新たな局面を迎えています。今後のまちの持続的な発展に向けて、主に次の課題があります。

課題① 人口構造の変化への対応

課題② コンパクトで利便性の高い都市空間の維持・形成

課題③ いつまでも安全・安心で自分らしく暮らせるまちの充実

課題④ 地域経済の活力の維持・増進

課題⑤ 生涯にわたって人とつながり、いきいきと暮らせる社会の充実

課題⑥ 持続可能なまちづくりを支える自治体経営の推進

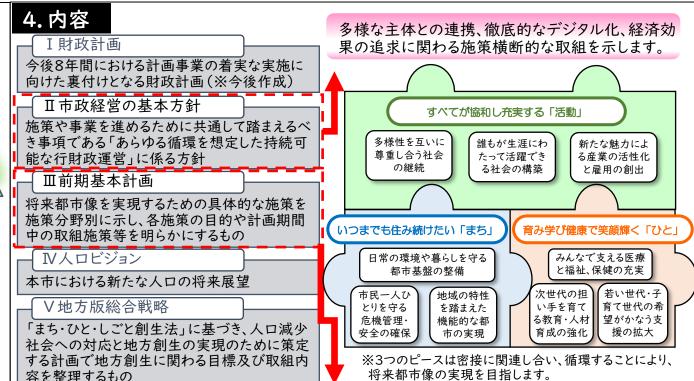
3. 目標

このような様々な課題の解決に向け、常に未来を見据え、これまで以上に幅広い立場や主体がともに考え、手を携え、認め合い、尊重し合い、『多彩で』『豊かな』活動を行い、永続的に『交流』し、いきいきと暮らし、『広く』活躍できる仕組を構築し、まち全体を発展させることを目指し、基本構想において、習志野市が目指すべきまちの姿(将来都市像)を、

『多彩で豊かな交流が広がるまち 習志野』

と定めました。

基本計画では、この将来都市像を実現を目指し「将来都市像を実現するための3つのピース」を具現化していくため、施策分野別に施策の目的(目指すまちの姿)を明らかにするとともに、計画期間中の取組施策を示します。



基本構想で掲げた「将来都市像を実現するための3つのピース」(上記)を具現化していくため、次のとおり施策分野別に、現状・主要課題・施策の目的(目指すまちの姿)・取組施策を示します。

いつまでも住み続けたい

まち

基本施策	- - 道路	- -2 ガス・水道・下水道	I-I-3 公園·緑地	
	- -4 地球温暖化対策・ 生活環境・自然環境	Ⅰ-Ⅰ-5 循環型社会	I-2-I 防災·危機管理	
	I-2-2 消防·救急	I-2-3 防犯·交通安全	I-2-4 消費生活	
	1-3-1 コンパクトなまち	I-3-2 市街地整備		

育み学び健康で笑顔輝く

- /-	7 N	$\boldsymbol{\nu}$
	U.	<u> </u>

_			
基本施策	2-1-1 健康・医療	2-1-2 高齢者福祉	2-1-3 障がい福祉
	2-1-4 地域福祉	2-2- こども・若者育成支援	2-2-2 学校教育
	2-3- 子育て支援		

すべてが協和し充実する 活動

基本施策	3-1-1 地域コミュニティ	3-1-2 人権、男女共同参画、 平和	3-1-3 多文化共生
	3-2-1 生涯学習	3-2-2 文化芸術·歷史	3-2-3 スポーツ
	3-2-4 多様な生きがいづくり	3-3-1 産業基盤	3-3-2 商工業
	3-3-3 都市農業	3-3-4 シティプロモーション	3-3-5 就労·雇用